

## 設置の必要性

- グローバル化が進むなかで、国際的に互換性のある教育を実施するには、コミュニケーション力の基礎となる質の高い実践的な言語教育を推進する必要がある。
- 質の高い言語教育を提供するだけでなく、言語教育に関する研究においても革新的で深化した取り組みが必要である。
- 様々な文化を持つ人々との交流が増えていくうえで、自らの考えを論理的に、かつ説得力を持った言葉で表現することが求められるが、そのためには、外国語に加えて、母語(国語)の運用能力の向上が不可欠である。
- グローバル化を推進するためには、学生のみならず、教職員に対する言語教育も必要不可欠である。

## 期待される効果

- 日本人学生と留学生が時間や空間を共有しながら、言語教育等を受ける環境を提供することで、グローバルな雰囲気に触れることができる。
- 他大学に先がけ開学以来設置されている共通科目「国語」の教育をより充実できる。
- 効果的な言語教育法に関する研究が推進され、「筑波大学メソッド」(仮称)などを発信することにより、我が国の言語教育の拠点となることができる。
- 教職員に対する実践的な言語教育を実施することで、本学のグローバル化がより推進できる。
- 開発した言語教育システムの全国展開や教材作成などにより、外部資金獲得を進めることができる。

## グローバルコミュニケーション教育センター体制整備



## 体制整備に当たっての基本的な考え方

### 求められる成果

- ◆コミュニケーション能力の向上
- ◆賛成・反対どちらの立場でも意見が言える能力(多数者間折衝・交渉レベル)→実践力
- ◆TOEFL ITPの向上
- ◆日本人学生、外国人学生の相互に語学力が向上する環境整備
- ◆語学力の不足が「留学」やコミュニケーションの妨げにならない

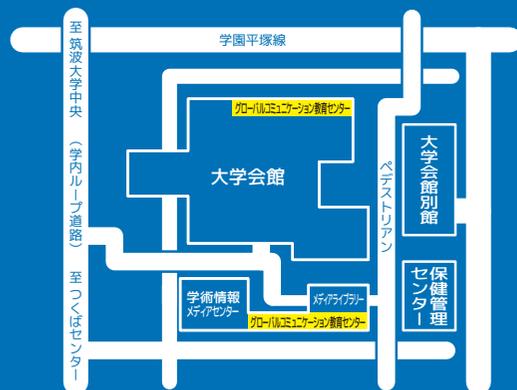
### 体制整備に当たっての留意点

- ◆「英語を学ぶ」のではなく、「英語で何をするか」「(「学ぶ英語」から「使う英語」へ！)
- ◆3つの観点(キーワード) ①「言語技術」②「ツール」③「コンテンツ」

### 体制整備の方向性

- ◆コミュニケーション力の基礎となる質の高い実践的な言語教育の強化
- ◆言語教育法および指導法等の研究
- ◆センター個々における改革ではなく、統合することによる言語教育全体の強化
- ◆新センターのポテンシャルを活かし、教職員の語学力向上を推進
- ◆言語教育の筑波大学メソッド(仮)の研究開発、外部資金の獲得
- ◆センターの充実と部局化

グローバルコミュニケーション教育センター周辺案内図



発行：平成27年4月 担当：グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)



グローバルコミュニケーション教育センター(Center for Education of Global Communication「略称:CEGLOC(セグロック)」)は、質の高い言語教育、特にコミュニケーション力の基礎となる実践的な言語教育を推進・深化させることを目的に、外国語センターと留学生センターにおける日本語教育部門を対象に改組・統合し、共通科目「国語」の教育をより充実させるために業務として取込み、平成27年4月1日に設置されました。

日本人学生及び留学生がともに外国語や日本語を学ぶためのより充実した環境を提供し、本学のグローバル化を推進するとともに、コミュニケーション力の基礎となる質の高い実践的な言語教育を提供します。また、言語の効果的な教育法の研究開発を推進し、筑波大学メソッド(仮称)の教育法を全国的に展開し、我が国の言語教育の拠点となることを目指します。

# グローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC) ご挨拶 Director's Message



Director Emi Hamana  
Center for Education of  
Global Communication

The Center for Education of Global Communication (CEGLOC) was established on April 1st, 2015. It aims to provide both Japanese and foreign students with a solid environment in which to learn languages together, whether or not Japanese is their first language; it also hopes to promote globalization at the University of Tsukuba and to offer students high-quality practical language education, giving them a foundation for communicative competence.

Global communication education at CEGLOC aims for our students to learn languages: English as a lingua franca, a foreign language as a local language, etc. It also provides students with other communicative tools such as ICT (Information and Communication Technology), to help them use their language and communication skills effectively and appropriately, and to foster their ability to communicate with anyone in the world and to understand each other.

The international community in the 21st century hopes to have young people who have advanced practical linguistic and communicative competence work together with people from diverse linguistic and cultural backgrounds to act globally.

The staff at CEGLOC welcomes this educational reform to promote our students' linguistic and communicative ability with a sense of mission and joy. We will strive to develop innovative teaching materials and methods while having lively interactions with our students.

## センター長 浜名恵美

グローバルコミュニケーション教育センター (Center for Education of Global Communication、略称CEGLOC)の理念は、日本人学生及び留学生がともに外国語や日本語を学ぶためのより充実した環境を提供し、本学のグローバル化を推進するとともに、コミュニケーション力の基礎となる質の高い実践的教育を提供することです。

本センターに期待されているグローバルコミュニケーション教育とは、「共通語としての英語」、「初修外国語」、「その他の現地語としての外国語」、「その他のコミュニケーションツール」を必要に応じて駆使して、世界のだれとでも、意思を通じ相互理解することができる能力を育むことです。

「共通語としての英語」の4技能の向上は、特に日本人学生にとって喫緊の課題です。「初修外国語」としては、外国語教育部門で開設している7言語(ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語)と、留学生を対象として日本語教育部門で開設している「日本語」、合計8つの言語があります。これら以外の言語が現地で使用されている国・地域へ留学等で行く場合には、本学の関連組織等の助言や支援を得て「現地語としての外国語」(例、ベトナム語、ポルトガル語)を学ぶ必要があります。「その他のコミュニケーションツール」とは、勉強でも研究でも対面コミュニケーションが最も大事であることに変わりはありませんが、特にICTによるさまざまなツールを駆使することができる力も必要になります。さらに、国語部門が、日本人学生の日本語運用能力を高めるために母語(国語)の教育を行います。母語による論理的思考力等を身につけることは、質の高い外国語能力を獲得するために不可欠です。

21世紀の国際社会が求めているのは、質の高い実践的な外国語運用能力、世界の人々と交渉し、共に働き、共に創造するためのコミュニケーション力、グローバルに活躍できる力(global competence)を身につけた人材です。

本センターの教育研究にかかわる教職員は、こうした能力を促進するための教育の改革を前向きに受け止め、学生のコミュニケーション力及び語学運用能力を高めることに使命感と喜びを感じています。私たちは、学生たちと生き生きと相互作用を行いながら、革新的な教材と指導法を開発することをめざしています。

# グローバル コミュニケーション 教育センター体制

## ○企画調整部門

- ・センター長、センター長補佐、各部門の代表、コーディネーター等で構成する。
- ・人事に関する事項を担う。
- ・事業に関する企画調整を担う。
- ・「グローバルコミュニケーション科目」「海外研修科目」等の開設を担う。
- ・コーディネーターがセンターの業務に関して、教育組織等と連携し、相談・調整を行う。

## ○外国語教育部門

- ・外国語教育については、英語と初修外国語の二つのグループに再編し、日本語以外の外国語教育(留学生に対する日本語以外の外国語教育も含む)を行う。
- ・教職員の語学力の向上支援を行う。
- ・外国語教育に関する研究及び指導法等の研究を行う。

## ○日本語教育部門

- ・留学生センターの日本語教育部門を移行し、留学生に対する日本語教育を行う。
- ・日本文化、日本事情に関する教育を行う。
- ・日本語教育に関する研究及び指導法等の研究を行う。
- ・日本語・日本事情遠隔教育拠点事業を中心的に担当する。

## ○国語部門

- ・日本人学生の日本語運用能力を高めるため、母語(国語)の教育を行う。
- ・大学での国語教育に関する研究及び指導法等の研究を行う。

## ○教材開発・支援部門

- ・他の部門と連携し、自学学修システムの開発、e-learning教材(ビデオ教材、会話教材)の作成及び言語教育システム(CALL等)の開発・管理等を担う。